

した。午後は一時になると午前とは違う現場に行きました。そこには高価な測量器械があり、その測量器械を用いて実習をしました。その器械は基準となるポイントを決めて、その機器とポイントとの距離を高精度で測る光波測量器でした。その作業が終わった後は、看板作りの手伝いをしました。その後、高田工務店に戻り今日の日誌を書き帰宅しました。

三日目は、CADをやりました。使用したソフトは学校で使用しているベクターワークスではなかったので操作が非常に難しかったです。

二日間にわたりたくさん学ぶ事ができ、良かったです。その中でも特に良かったのは測量でした。この二日間体験したことを将来に生かしたいと思います。そして実習期間指導をしてくださった高田工務店の皆さんには、大変感謝しております。本当にありがとうございました。(高田工務店での実習)

建築デザイン科二年

高野 将

私が現場実習に参加した三日間の感想は、第一にとっても緊張したことです。元々、建設現場の仕事は大変だと思っただけでしたが、想像していた以上に緊張しました。一日目はずっと緊張していました。二日目・三日目は最初は緊張していましたが時間がたつにつれて緊張がとれてきました。

一日目に実施した工程表の作成は、仕事の流れをパソコンで書く作業なので、見た目も難しそうでしたが実際にやってみるとやはり大変でした。工程表を作成してみても気付いたことは、工事の流れはいろいろな業種があつて複雑になっているが、工程表があれば分かりやすく計画的に進めることができると思いました。一日目の全体的な感想は、現場の環境に慣れることが大変

で少し疲れましたが、やりがいのある仕事だと思いました。

二日目は八時三十分までに出社し、九時に橋を造っている工事現場に行きました。進捗状況は穴を掘って橋の支えとなるようなものを入れていました。そこを十分くらい見学した後、近くのプレハブの現場事務所です。関係する話を聞きました。その後、レベルを使用して測量をしました。測量と測量データの記録は実習生が順番に行い、スタッフも順番に持ちました。レベルの測量で目盛りを読む時は、目印の線がうまく見つけられず難しかったです。スタッフを持つのは退屈で意外と長く感じましたが、風などでスタッフが傾かないようにしているのが難しかったです。その後、高田工務店に戻り昼食を取った後、午前とは別の現場に移動しました。ここでは光波測量器で水平距離を高い精度で測りました。光波測量器は焦点合わせやスタッフの傾きの防止やずれをなくするのが難しく、時間が掛かり苦労しました。

三日目は、CADで製図を描きました。学校で使用しているソフトとは違って操作方法が分からず、指導を受けながらゆっくり操作しました。

最後に三日間を通じて学んだことは、仕事の大変さ、いろいろ複雑で面倒なこと、建設業の仕事の面白さ、仕事への興味や関心などです。三日間という短い期間にもかかわらず少し疲れましたが、多くの事を学ぶことができました。大変感謝しております。ありがとうございました。

(高田工務店での実習)

建築デザイン科二年

前田 眞之介

私は七月二十二日から三日間、高田工務店で現場実習をしました。

一日目は、午前中本校で全体研修会を行いました。内容は、まず茨城県建設業協会土浦支部長 佐々木 勇さんのあいさつがあり、次に本校の校長先生からお話がありました。次に新規入場者教育ビデオと建設工事現場ビデオを見ました。とてもためになる内容だったので、真剣に見ました。午後は、待ちに待った高田工務店へ実習に向かいました。そこで最初に教えてもらったのは、工程表の作成でした。学校の授業ではまだやっていない内容だったので、とても新鮮みがあり勉強になりました。

二日目の午前中はレベルという測量機器を使って測量をしました。初めての経験なのでとてもわくわくした気持ちになりました。実際に使ってみるとものすごく難しく大変でした。午後は一〇〇万円はするという測量機器を使って測量をしました。器械をセットするのが大変難しく、大変でした。その後、この現場以外の橋を架けているところを見学しました。

三日目はCADを教してもらいました。学校で使っているCADソフトとは違うソフトを使っており、はじめは操作がほとんどできずに苦労しましたが、担当者がいいねいに教えてくれたのでその後は楽しく操作することができました。

三日間の現場実習を通じて、いろいろなことを学ぶことができました。特に学校の授業ではやらないような貴重な経験をすることができて、良かったと思っています。また、建築業への興味・関心がより一層強くなりました。そして、お忙しい中いいねいに指導して下さいました高田工務店の皆様



謝しております。ありがとうございました。

(高田工務店での実習)